



の通信



●●● 自然と歴史の大発見 ●●●
宮崎県総合博物館

Miyazaki Prefectural Museum of Nature and History

発行日/2012年12月1日

発行 / 宮崎県総合博物館 〒880-0053 宮崎市神宮2丁目4番4号 TEL(0985)24-2071
<http://www.miyazaki-archive.jp/museum/> FAX(0985)24-2199

特別展 すばらしき宮崎の自然



アカシヨウビン

宮崎県で見られる花と鳥に焦点を当て、
 写真を中心に紹介します。
 この展覧会を見ることにより、
 宮崎の自然が豊かであることを
 改めて感じてみませんか。



ジウビタキ

クロツラヘラサギ

ルリビタキ

キビタキ

セイタカシギ

特別展 すばらしき宮崎の自然

開催期間 平成25年 **1月5日(土)** ~ **2月17日(日)**

開催時間 **午前9時~午後5時まで** (入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週火曜日

主催 宮崎県総合博物館

場所 宮崎県総合博物館 2階 特別展示室

観覧無料



イワカガミ



オニバス



ネジバナ

ハマビルガオ

ギンリョウソウ

クサフジ

佐土原人形絵付け体験

佐土原人形は、江戸時代の終わり頃から宮崎市佐土原町で作られてきた土人形です。

この講座では、実際に佐土原人形に絵付けをする体験をしていただきます。毎年、12月の第1週の土曜日に実施しており、佐土原人形の代表である饅頭喰い人形や翌年の干支の土鈴などに色を塗ります。指導は、現在も佐土原人形を製作している人形製作所「ますや」さんのご主人と奥さんです。

材料代が必要ですが、自分で色づけした人形や干支の土鈴を飾ってみてはどうでしょうか。(小山)



九州測量200年



「浦尻・嶋野浦海浜図」(本館蔵)の一部

いのうただたか
伊能忠敬(1745~1818)の率いる測量隊が、九州地方の測量に来てから200年になります。忠敬は緯度1度の正確な距離を出すため、寛政12(1800)年から17年の歳月をかけて全国を歩いて実測し、「大日本沿海輿地全図」を作成した人物です。

日向国(宮崎県)にも2度にわたってやってきた忠敬たちは、1度目が文化7(1810)年に豊後国(大分県)境から入って海岸沿いを南下し、2度目は文化9(1812)年に日向国内

の主に内陸部を結ぶ街道筋を通して実測しています。

このとき事前に各藩で作成された地元の絵地図などが忠敬のもとへ提出されていますが、写真はその時に準備された地図の控え図と思われる「浦尻・嶋野浦海浜図」(本館蔵)です。縦94.5cm×横311cmあり、入り組んだリアス式海岸や島浦島(写真の左下)をはじめとする島々、そして当時の村の様子が描き込まれています。海図としての書き込みもあり、当時の測量技術の一端がうかがえます。(中竹)

ハリナガリンボウ化石



ハリナガリンボウは現在の海にも生きている美しい巻貝で、貝殻は観賞用として人気があります。この貝の化石が2010年4月に新富町日置で見つかりました。繊細なトゲがしっかり残った化石はほとんど見つかることがなく全国的にも貴重な標本です。化石は約250万年前に海底にたまった宮崎層群の地層から見つかりました。この地層は灰色の砂岩層で、コンクリーションという砂岩の硬いボールが並んでいる部分がありました。このふしぎな地層について調べているとき、偶然割ったコンクリーションから真珠色の光沢を放つハリナガリンボウ化石を見つけました。周囲には細かい貝の破片が密集していましたがハリナガリンボウの細いトゲはあまり折れずに見事に保存されていました。(赤崎)

干潟の自然



シオマネキ(スナガニ科)

自然史展示室「宮崎の水辺コーナー」には、宮崎県串間市の本城川河口干潟を再現したジオラマが展示されています。干潟とは、潮の干満に応じて干出と水没を繰り返す遠浅の平坦な砂泥地のことで、光や酸素の供給が十分であるため、多種多様な生物が多く生息しています。このジオラマには、30種類の動植物が展示されています。中でも目立つのが、器用にハサミを使って干潟表層の砂泥を口に運んでいるスナガニ類です。スナガニ類は、砂泥中に含まれている有機物を濾し取った後、砂泥を団子状にして吐き出していきます。また、ゴカイやシャコ類、マテガイなどの二枚貝が、砂泥中で生息している様子をじっくり観察できるようになっています。一見地味な印象の干潟ですが、実はとても複雑な生態系が成り立っています。(山田)

利用者からの問い合わせ

秋なのにサクラが咲いた!!

台風が通過した後や強風の後などに「春ではないのにサクラがたくさん咲きました。なぜですか。」という問い合わせがあります。サクラの仲間には、秋咲きや冬に咲く品種もありますが、普段よく目にするのは、春に咲くソメイヨシノだと思います。ソメイヨシノなどのサクラは次の年の春に花を咲かせるために、前の年の夏には花芽を作ります。作られた花芽は、葉でつくられた植物ホルモン等によって休眠状態となります。そして冬の低温期に休眠が破られ、気温の上昇とともに開花していきます。しかし、花芽が作られた後に、葉からの植物ホルモンが供給されなかつたり、十分でなかつたりするとそのまま花が咲くというわけです。台風や強風後にサクラの花が咲くのは、強制的に葉がもぎ取られたりして、休眠のための植物ホルモンが花芽に行き渡らなかつたのが原因と考えられます。(福松)



展示解説員の声



「昆虫生き残りゲーム」の紹介

博物館の人気コーナーのひとつに、1階自然史展示室の「昆虫生き残りゲーム」があります。このゲームはムクドリが色々な昆虫を食べて得点を競うパソコンゲームですが、昆虫が生き残るために他の動植物などに姿を似せる「擬態」について学習できるゲームでもあります。例えば、無毒のチョウが毒をもつチョウになりすましたり、植物の枝や葉・花に似せて自分の身を守る昆虫が登場したり、ムクドリに食べられまいとする昆虫たちの生き残り作戦を見ることができます。

遊びながら学ぶことができるこのゲームを一度体験してみませんか? (中原)

お知らせ

臨時休館のお知らせ

平成25年2月18日(月)～2月21日(木)

館内メンテナンス期間として上記の期間は臨時休館となります。

安部朱美 創作人形展

～昭和の家族・ふたたび～

貧しくても心豊かに過ごし、深い絆を持って暮らしていた昭和の家族を、安部朱美の創作人形で表現。好評だった前回に新作品60点を加え再び開催。

開催期間:2013年

3月2日(土)～3月18日(月)

※期間および内容については変更することもあります。



山本高樹 ジオラマ展

あの梅ちゃん先生の世界
～昭和の幻風景～

あの梅ちゃん先生で好評のジオラマ作家、山本高樹氏昭和幻風景の作品30点を展示開催。

開催期間:2013年 3月20日(祝)～4月7日(日)



宮崎の昔話公演

田舎裏を囲んでユーモアと臨場感にあふれた語りをお楽しみください。

公演日:2月16日(土)
3月16日(土)

時間:13:30～14:20
場所:椎葉の民家



春の民家園まつり

3月開催予定



これからの講座ご案内

※定員をこえる場合には抽選となります。

2月3日(日)「化石のレプリカをつくろう」

化石のレプリカについて学習し、実物化石の型から作成体験します。

時間:10:00～12:00

対象:小・中・高・一般

場所:研修室2

定員:25名

募集期間:1/6(日)～1/20(日)



2月2日(土)「神宮の森の野鳥観察会」

初心者のための野鳥観察講座、神宮の森で野鳥観察の仕方を学びます。

時間:10:00～12:00

対象:小・中・高・一般

場所:研修室1・宮崎神宮の森

定員:30名

募集期間:1/5(土)～1/19(土)



2月16日(土)「宮崎の歴史を学ぶ」4

関係資料を使いながら、近世の日向国の歴史を学習します。

時間:10:30～12:00

対象:中・高・一般

場所:研修室1

定員:30名

募集期間:1/19(土)～2/2(土)



3月3日(日)「水晶と鉱物を観察しよう」

顕微鏡で小さな鉱物を観察したり、美しくふしぎな鉱物の世界にふれます。

時間:10:00～12:00

対象:小・中・高・一般

場所:研修室1

定員:30名

募集期間:2/3(日)～2/17(日)



3月10日(日)「弥生時代の宮崎」

弥生時代の宮崎について、その特色や地域性などをお話します。

時間:13:30～15:00

対象:一般

場所:研修室1

定員:50名

募集期間:2/10(日)～2/24(日)

